

新潟市総合計画審議会 第2部会（第4回） 会議概要

開催日時	令和4年9月1日（木） 午前10時から午前11時15分まで	
会場	新潟市役所本館5階 全員協議会室	
出席者	委員	小宮山部会長、遠藤委員、神林委員、北川委員、志田委員、福田委員、星委員、山際委員、吉田委員
	事務局等	政策企画部長、観光・国際交流部長、経済部長、農林水産部長 ほか
<p>1 開会</p> <p>2 審議</p> <p>・ 前回意見の集約 (坂井政策調整課長)</p> <p>おはようございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>資料1-1「第2部会（第3回）意見集約表（案）」をご覧ください。こちらは、前回ご審議いただきました観光・交流、移住・定住について、委員の皆様から頂いた意見を集約したものです。</p> <p>そして、A4縦の追加資料「部会長会議概要」もご覧いただければと思います。8月29日、牛木会長及び各部会の部会長にお集まりいただき、部会長会議を開催しましたので、ご報告いたします。</p> <p>部会長会議では、各部会が出た意見についての報告や、後ほどご説明しますが、部会をまたがる意見の取り扱いについて調整を行いました。各部会での議論を踏まえて、総合計画全体にかかります内容として、四角で囲んだ部分にあるようなご意見を頂きましたので、これらのご意見を踏まえながら、引き続き、素案をブラッシュアップしてまいります。</p> <p>続いて、資料1-2「他の部会からの意見（第2部会所管分）」をご覧ください。こちらは、ほかの部会の審議の中で、第2部会が所管します分野の内容について意見を頂きましたので、ご報告するものです。部会長会議での結果、担当する第2部会で検討することになりましたので、ご意見の内容に特に問題がなければ、ほかの部会から出た意見ではありますけれども、意見集約の案のとおり答申に含めさせていただければと思います。私からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。</p> <p>(小宮山部会長)</p> <p>ありがとうございました。今ほどご説明いただいた資料1-1「第2部会（第3回）意見集約表（案）」及び資料1-2「他部会からの意見」について、ご意見やご質問がありましたら、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>資料1-2「他部会からの意見」のほうの第1部会から出たものですが、162ページのところを見ると、佐渡市と会津若松市は名前が出ているのです。もちろん他の都市とも連携すべきなのですが、なぜそこが出ているか、今、連携の状況や歴史的背景、その辺の理由も書いていただくと、なぜそこなのかなということが分かるような気がします。例えば、佐渡金山の金を江戸時代、運ぶために会津のほうの街道と北国街道で長野県のほうを通る街道により、歴史的つながりがあるとか。</p> <p>第4部会のほうも、農業を守っていくということは、都市の防災にも役立っているというところで、そういうものを一言加えたらいいのではないかという意見集約となっています。本日は部会の最終日ですので、その後の意見の取り扱いについては私にご一任いただくということでご了承いただければと思います。</p>		

・ 答申案の確認

(坂井政策調整課長)

資料2「新潟市総合計画答申案」をご覧ください。これまで、委員の皆様からのご意見を基に答申書の案としてまとめたものになります。表紙をおめくりいただきますと、1ページ目からは、審議に当たっての背景や審議の結果を記載しました冒頭文を掲載してあります。

3ページから5ページ、また最終ページの8ページには総論や新潟市を取り巻く状況、区におけるまちづくりの方向性など、第1回の全体会が終わった後に、皆様から書面で頂きましたご意見を掲載してございます。この第2部会でご審議いただいた意見は、6ページから7ページに掲載してあります。なお、現時点で集約が住んでいます第1回と第2回の意見を掲載してあって、先ほど、集約させていただきました第3回部会での意見や他の部会の意見などを加えたうえで、次回第2回全体会の際に、改めて答申書の案をお示しする予定としております。説明は以上となります。

(小宮山部会長)

ありがとうございます。今ほどの答申案について説明を頂きましたけれども、この答申案は現時点の案とのことでして、後半部分は今、ご説明いただいたように、第2部会の第1回、第2回について、最後の全体会において第3回の部分と他部会のものが追加されるということです。後半は、基本的に今までもすでに我々が確認してきたものが実はそのまま載っているもので、確認すべきは冒頭部分になります。冒頭部分がとても重要だということがこの前、部長会議に参加して、私も気がついたところでした。特に冒頭部分やそのほか、全体を通じて、何かご意見がございましたらお願いいたします。

特になければ、答申の確認も一応、これで終わりにさせていただきまして、続いて次第3の報告について説明していただきたいと思います。我々の役割は答申を作るまでなのですが、その後、どうなるのだろうと気になりますので、事務局から今後、どう対応していただけるかということの説明していただきたいと思います。

3 報告

- ・ 第1回全体会及び第1・2回部会にかかる意見への対応（案）について事務局より、参考資料1・参考資料2について説明しました。

(福田委員)

参考資料2の14番目、③意欲ある担い手等の確保・育成のところ、新規就農者の技術及び知識の習得や意欲ある担い手が営農を継続できる環境を整備するとあります。

私は、新潟県産業教育協議会の会長を務めておりまして、そこで、工業系高校を受験する子どもたちはどんどん減っており、農業系が増えているということです。

商工会議所は中小企業の事業承継を支援していますが、吉田委員、農業の事業承継というのはどうなっているか教えていただけますか。

(吉田委員)

かなり危機的です。ただ、よく分からないのですが、農業における事業継承と中小企業における事業継承はどちらが悲惨かという、もしかしたら企業のほうが悲惨かもしれません。

(福田委員)

例えば、中小企業の工場の事業承継では、工場の経営者が亡くなったら息子が継ぐわけです。そうすると、税務署は、あなたの工場は10億円の価値があるから、土地も含めて相続税5億円払えと言

うのです。5億円払えということは、10億円の工場を売れということですよ。売れということは、自分の親の工場が継続できないということです。金融機関から借りられるかと言うと、うまくいかないケースも多い。

日本の事業承継税制で相続税は、3年間猶予だったのを5年間猶予に延ばしました。ヨーロッパでは5年経つと相続税ゼロです。アメリカは、何億以上とかは別にして、はじめからありません。

農業の後継者を育てる観点から、例えば、高校生が農業をやりたいと言ったときに、事業承継を農業についても適用するという形を、新潟の国家戦略特区で適用できないのですか。

(吉田委員)

特区はそういうことが可能なように、まず、企業という辺りで少し規制を弱くしたのですけれども、そもそも農業自体は相続税とかそういうものについては非常に優遇されているので、比較的、実の子どもとか親類が継ぐ部分は非常にいいのです。だから、農地面積でそんなに減らないのは、やはりそういうことがあって、何らかの人が承継してくれるような仕組みができています。

(福田委員)

昨日の新潟市国家戦略特区推進協議会で、大規模化を進めてもいい、スマート農業をやってもいいとお聞きしました。そうすると、いずれ大規模な農家ばかりが増え、法人化が進んでいくという話も昨日、出ていました。

どれくらいの大きさの農家を残すのかという、私はよく分からないのですけれども、ただ、吉田委員がおっしゃるような相続とか事業承継について、優遇措置があるならば、きちんとそれを書いてしまえばいいのです。優遇された事業承継の環境を活用してとか、そこに新潟市が特区で追加するようなことをやれば、来年すぐは無理かもしれないけれども、農業高校の子どもが卒業するころには、新潟大学農学部に行くかもしれない。新潟に行くときれだけ可能性がある。しかもそれをやると、きっと若い人は米作をやめると思います。県は儲かる付加価値のある農作物を推奨している、どちらかというときメではなく畑ですよ。

(吉田委員)

園芸というくくりで、米以外のものというイメージが出ています。

(福田委員)

そうなのです。園芸のほうが利益は大きいのです。

以前、普通の食用米を作るよりも加工米、飼料米を作ったほうが利益幅は大きいので、食用米は作らないと聞いたことがあります。

それともう一つ。創業で聞いたら、浜松市、福岡市では創業登記手続きをワンストップでやっているのだそうです。新潟では創業の手続きにあたって省庁たらい回しになって大変だと開志専門職大学の先生が言っていました。

例えば、創業に向けてはワンストップを作っていくという言葉を書くと、これが割と現実味を帯びてきて、ではどのようにやるのですかという話になると、市の職員は大変なわけです。もう少し現実的なワンストップ「等」でもいいのです。読んだ人が、新潟面白いなど、何かできるのかな、というような文言が入ると良いと思います。

(三阪農林水産部長)

農林水産部長の三阪です。

いくつか論点があったかと思うのですが、一つ目の税制、承継税制と呼ばれるものについては、承継税制の特例とか、農業もあります。あと、それに伴う承継に際しての支援制度は国もありますし、今年から新潟市の単独事業で、承継するに当たって老朽化した資機材についての改修の支援を行っております。そういう外形的な事業承継、そういった税制でありサポート。

あと、民間も、先ほど、工場の売却みたいな話がありましたけれども、それについての与信の話は、金融機関やリースの事業、財産査定をした後に、その査定に見合う承継をする際に売却なのか、買い取りなのかリースなのか、そこに融資を入れるのか。我々でいけば、さらにそこに支援制度、各種支援とかありますので、そういうものについては、営農を継続できる環境という意味において、特におっしゃったのは新規就農という文脈であったと理解しておりますが、そこは各種あるので、それを細かく書き出すのは、ここでは違うのかなと。

環境について、農業をやる場合に二つ必要であると。一つは営農技術で、もう一つは生産基盤装置、例えば、ハウスであったり農地であったりということになると思うのですが、まず、営農技術がないといけません。昨今、このあいだのこちらの場でも議論がありましたが、農業者の方が、もちろん農業の技術も大切なのですが、今後は、いかにどうやって売っていくかと。そういう経営のマネジメントみたいな能力がより重視されていくだろうということで、今回、我々が考えておりますのは、新規就農者というように、そこはまず技術、知識、これは農業大学校などで、そういった支援制度は各種あるのですが、もう少しそこは強めていきたい。意欲ある担い手は営農を継続できると思いますし、知識の習得ということなのですが、営農であったり、営農以外の部分、経営であったり、特に、法人化していく場合には、各種雇用労働関係の法務、そういったところを学べる場がなかなか少ないということを支援していきたいということで、環境というのは必ずしもそういった生産基盤装置の部分だけではないということ在意図して書かせていただいたところです。

(中川経済部長)

今ほど福田委員からいただいたものについて、やはり、わくわくするような、何か例示でもいいから、形容詞的に表現してみたらどうかということについては、検討してみたいと思います。

(福田委員)

静岡で温室メロンが広がったのは、銀行が温室の設備投資に対して融資したからです。付加価値の高いところには銀行も貸すのです。今年米価が上がるのはよかったと思いますが、先を見てやらないといけない。行政が農家に対する融資の保証をすることはできないですね。金融機関もこれだけ農業に貸していますという形でしていけば良いと思います。

(農林水産部長)

そういった与信に対する、例えば、融資制度に対する利子補給というと、保障といったものには特区の制度を活用して、新潟市は持っております。農業に限定しているものがあるのですが、そういった特区を活用してという文脈でいけば、すでにそういったものはありますし、お金を貸さないことがあると言われたのですが、私が把握している中では、いろいろそういうものを積極的に活用して規模拡大や効率化というところ、それが米作であってもお金を借りているという事実はあります。

必ずしも米だけが駄目ではなくて、逆に、これだけの広い農地を、先ほどこの場でも話題になりましたが、これだけ広い農地をどうやって維持していくかと考えたときに、高収益作物というものは一般的に人手がどうしても、果樹のところでもありましたが、かかってしまうので、一人二人で賄える面積は非常に限定的になってしまいます。やはり、そこでは土地利用型農業みたいな、機械を使った米であったり麦であったり大豆であったりというものをいかに組み合わせ、最終的に収益を上げて

いくかといった経営戦略がより重要になっていくと。あと、機械も効率を上げるために、米もコシヒカリではなくて、飼料米などいろいろ組み合わせながら機械の効率化を上げていくとかいろいろ考えていかなければいけない。ここら辺が市としてもアドバイスをしていきたいと考えています。

(福田委員)

大規模農業化していくことになるのですね。

(三阪農林水産部長)

必ずしも規模が大きくなるのが正解ではなくて、やる気に応じた農業が展開できるような環境づくりが重要なのかなど。その中で、もちろん、大規模化というものは一つ、コスト縮減には非常に大きなツールになるということは認識しています。土地利用型であればなると思いますし、必ずしも大規模化だけが正解ではないと思っております。

(小宮山部会長)

今、福田委員から14番目について述べてもらいましたが、15番目も似たような、具体的な個別のものは実施計画でというパターンなのですけれども、この辺りよろしいですか。どうでしょうか。ほかのところも、何かありましたら。直っているところも、こう直したらいいのではないかというものが何かありましたら。

(吉田委員)

別段、文章を直せという要求ではないのですけれども、私は国家戦略特区というものをもう少し触れたほうが良いというお話をさせていただいたのだけれども、どうも加計問題以来、国家戦略特区というものがみんな怖がって腫れ物に触るみたいになってしまっているのです。あれ自体は非常に重要な施策の一つであって、新潟の農業大規模化における国家戦略特区というのは、全国の国家戦略特区の中でも最も成功したうちのひとつと評価されてもいいと思っています。他の地区の有名無実の状態になったのが大部分です。この中で具体的に今も継続してやっているのは非常に重要なところですよ。

ただ、途中から他の特区の制度をしないといけなと言われて、今、めちゃくちゃになっているのだけれども、それならそれでそういうものを使いながら、やはり、国家戦略特区を活用して、そこで突破したものを全県とか全国にするとかという方向に、さらに推進力を上げていくべきだというのが私個人の考えにあって、もう少し前面に出していただきたいという思いがあって言ってみました。

(北川委員)

北川です。よろしくお願いします。前回の会議で、パブリックコメントを紹介いただいたと思うのですが、パブリックコメントはいつ反映されるのでしょうか。ここにはもうパブリックコメントの内容が反映されていると考えてもよろしいのでしょうか。

(坂井政策調整課長)

ここにはまだ載っておりません。同時に今、並行で直しているような状況です。

(北川委員)

そうすると、最終的にはパブリックコメントの内容も検討された形で、盛り込むものは盛り込むという感じでしょうか。

(政策調整課長)

はい。

(北川委員)

分かりました。では、今回の1回、2回部会での意見には反映されていないということですね。

(坂井政策調整課長)

素案の部分そのものを直したものが載っているということです。

(北川委員)

分かりました。

パブリックコメントについてですが、新潟市は80万人前後の人口がいる中で50件が多いかどうか、1人で数件出していれば人数は50人もいないのだと思っています。せっかく出していただいた意見を、ぜひ、盛り込めるところは盛り込んでいただければ、またみんなで作り上げる新潟市というような印象が出てくるのかなと思います。

(坂井政策調整課長)

パブリックコメントについては、前回の8年前もたしか同じくらいの件数だったかと思っています。本当にいただいた意見は大事に確認させていただいて、対応できる部分は対応させていただくような形を取るつもりです。

(小宮山部会長)

15番なのですけれども、確かに具体的なSNSとかは書き込めないと思うのですが、もしよかったら、園芸作物の販売促進・販路開拓の後に、時代の変化に即したとか、何か入れてもいいのかなど。具体的には書けなかったとしても、この辺、何か少しでも具体的に書くと少しわくわくしてくるかなという、これから何か新しい方法で販売促進やっていきたいな、みたいなの、行政と一緒にやっていこうみたいなの、何か一言あってもいいような気がしなくもないです。差し支えない程度で、あるといいなという気がします。いかがでしょうか。

(三阪農林水産部長)

そこは中でも、前回の場合ではSNSとかいろいろな具体的なツールとかあったと思うのですが、先ほど言われました時代の変化とかそういった文言を中で検討させていただければと思います。

(小宮山部会長)

若者にも耳を傾けとか、何か抽象的なものでもいいと思いますので、何かあると、よしやろう、みたいな気になりますので、よろしくお願いします。

(福田委員)

4番のところに、世代を超えて人々が集う交流の「場」を設けるなど、商業機能に加えると赤字で記載してあります。例えば、昔から渋谷に若い人が集まるけれども、最近では年配の方も来るようになりましたよね。銀座は年配の方が多かったのが、段々と若い人が行くようになりましたよね。新潟の古町商店街の性格は、昔から銀座と渋谷と新宿と一緒にいるのです。

世代を超えて歩けるまちでは、息子と娘ではなく、孫と歩くのです。だから、高齢者が歩いても

安全なまちだとか、車が突っ込んでこない一方通行だとかが本当は必要なのではないかと個人的には思っています。

世代を超えて人々が集う「場」と書いてしまうと、具体的過ぎて何かやるのかなと思ってしまいます。「場」という言葉は、他の表現に変えてしまったほうがいいのかという気がします。「場」と書く、本当に、「場」を作ることになると思いますので。

(小宮山部会長)

このようなところでよろしいですか。いかがでしょうか。もしほかにご意見なければ、意見対応については以上とさせていただきたいと思います。

これで次第のところは全部終わりました、議題は以上となります。これで本日、そして部会は終わります、いろいろ意見をいただいたものについては、ほかのところも含めて私にご一任いただくということで、これで終わりにしますので、ご了承いただければと思います。

4 閉会